














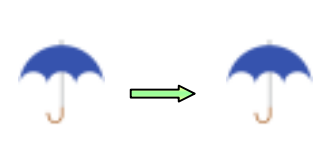




















【産業動向概要】

産業全体 	<p>05年10月を中心とする県内経済の動向は、公共工事は減少しているものの、個人消費は持ち直しをみせ、企業の生産活動と設備投資も堅調に推移している。有効求人倍率は18ヶ月連続で1倍を超え、雇用環境は改善が続いている。このように、県内経済は、個人消費・雇用環境ともに改善し、好調な企業部門が主導する形で、回復の動きを続けている。</p>
--	--


































観光・旅館業 		<p>今秋は計4回の三連休があったが、三連休の客足は通常の週末より好調。一方、三連休以外の週末や休前日・平日の動きが弱まるという指摘もある。年末年始の予約状況は、12/29～1/3については比較的堅調。</p>
紙類 	 衛生用紙  板紙 	<p>家庭紙原料となる古紙の買取価格が上昇、燃料となる重油価格も上昇基調にあり、原材料コストの高騰が継続。家庭紙の市況は下落基調が継続、原燃料価格の高騰もあり、各メーカーの採算は厳しい状態が継続。段ボール原紙の生産、市況は安定しているが、川下からの値下げ圧力と原材料価格高騰が懸念材料。</p>
水産業 		<p>8月～10月の静岡県主要漁港の総水揚量は、前年比約36%の増加となった。水揚高は水揚量の増加を受け、前年比約34%の増加となった。個別経営体については、水揚高増加に伴い改善の兆しがみられたが、燃料コストの負担は依然大きく、先行きに不安が残っている。</p>
一般機械（主要） 	 金属工作機械  金型  パルプ及び製紙機械、プラスチック加工機械 	<p>金属工作機械は、3期連続で前年比50%超の伸びを確保。大手各社は能力増強体制に入っているが、一部ではピークアウトを懸念する声も囁かれ始めている。金型については、前年比ではマイナスとなったものの、自動車メーカー向けの受注を中心に好調を維持している。</p>
木材 		<p>8月～10月県内の住宅新設着工戸数は、昨年の水準を上回り堅調に推移。しかし、木造率低下で製材品の生産実績は、前年を・5.2%下回る。今後の生産の見通しについても、年末から住宅着工が落ち込むことが予想されるため、低水準で推移するものとみられる。</p>
缶詰 	 水産缶詰  農畜産缶  飲料缶類 	<p>水産缶は水揚げ減少や原料価格上昇の影響で生産量の減少傾向が継続。農畜産缶は堅調な需要に支えられ増加傾向が継続する見通しである。飲料缶類は残暑の長期化の影響もあり成長を続けている。</p>
楽器 	 ピアノ  電子楽器類 	<p>主力のピアノは、国内販売台数は引続き減少し、依然として国内需要の不振が続いている。電子楽器類は、電子キーボードが北米への輸出が好調なことから、生産・販売台数ともに前年実績を大幅に上回って推移した。</p>

輸 送 用 機 器				8月～10月の二輪車生産台数は、国内、輸出向けともに堅調に推移。高速道路二人乗り解禁の影響で、大型スクーター需要が堅調。自動車部品は、好調な自動車生産を背景に、受注量は確保しているが、原材料価格の高騰から利幅が薄い状態が続いている。
	二輪車 	自動車部品 		

				
明 る い	やや明るい	停 滞	やや不振	不 振

《産業別天気マークの推移》

 明るい
  やや明るい
  停滞
  やや不振
  不振

調査対象時期 (公表時期)	03/10 (03/12)	04/1 (04/3)	04/4 (04/6)	04/7 (04/9)	04/10 (04/12)	05/1 (05/3)	05/4 (05/6)	05/7 (05/9)	05/10 (05/12)
概況 		→		→					
観光・旅館業 		→		→		→			
紙類 		→		→		→			
水産 									
一般機械(主要) 		→		→		→			
木材 									
缶詰 									
楽器 		→		→					
輸送用機器 